

2021/01/17（日）の中医推拿セミナー

- 一、中医推拿療法の概論
- 二、顔面神経麻痺症の改善における中医推拿療法の応用
- 三、推拿療法の基本手技（その1）
- 四、推拿練功の紹介——「仙人指路」

一、中医推拿療法の概論

（一）名称について

1. 名称の意味 ①手技の名前 ②療法の名前
2. 名称の歴史
3. 名称の定義 ①推拿 ②推拿療法 ③推拿学

（二）推拿療法の内容

1. 中医理論
2. 中医診察法
3. 中医弁証
4. 推拿施療 ①推拿手技 ②推拿練功

（三）推拿療法の特徴

1. 中医学の角度
2. 弁証論治の方法
3. 体外体表で施療
4. 徒手で施療
5. 治防兼用

（四）推拿療法の目的と効用

1. 経絡疎通、気血調和
2. 筋肉整復、関節活利
3. 臟腑調整、扶正祛邪

（五）推拿療法の応用

1. 臨床治療方面 各科の疾患
2. 疾病予防方面
3. その他 美容

二、顔面神経麻痺症の改善における中医推拿療法の応用

(一) 弁証 (診断)

1. 症状

①顔面筋肉の弛緩 ②顔面部感覚の異常 ③顔面部自主運動の障害

2. 病症の部位

①顔面部 (筋肉経絡) ②臟腑 (脾胃肝胆心)

3. 病症の弁証 本虚標実・虚実夾雑

①**風邪襲絡** 発病の前夜風寒を感受し翌朝、顔面部の筋肉がマヒになり、口眼歪斜、
或いは頭痛、舌淡紅苔薄白、脈浮

②**痰湿阻絡** 頭痛或いは頭暈、口眼歪斜、顔面或いは肢体マヒ、神疲乏力、食欲不振
舌暗、苔薄膩、脈細滑或いは細洪

③**気血両虚** 口眼歪斜、回復期長い、眩暈、動悸、乏力、食欲不振、
舌淡苔薄、脈細弱

4. 発病の緩急区別

①急性期 ②回復期 ③後遺症期

(二) 論治 (施治)

1. 治療方針 (原則或いは治法)

「疎通経絡 行気活血 筋肉整復 臟腑調和」

2. 推拿処方

①経脈 (けい みやく)

督脈 膀胱経 胃経 胆経 大腸経 小腸経 三焦経
任脈 肝経 脾経

②腧穴 (ゆ けつ)

■顔面部腧穴 百会 印堂 風府 風池 翳風 太陽 瞳子髎 陽白 攢竹 睛明
四白 迎香 顴髎 地倉 頰車 下関 水溝 承漿 合谷

■弁証配穴 [風証] 風府 風池 風門 肩井 曲池 外関 膈兪

[湿証] 肩井 曲池 足三里 豊隆

[肝] 肝兪 期門 太衝 [胆] 風市 陽陵泉

[脾] 脾兪 章門 太白 [胃] 足三里 上巨虚 下巨虚 豊隆

[心] 心兪 膻中 神門

[気] 命門 関元 気海 [血] 膈兪 中腕 血海

③手技 滾法 一指禅法 揉法 指压法/指按法

摩法 推法 擦法 抹法 拍法 叩法

3. 推拿施療

①施療の体位 仰臥

②操作の順序 摩法/滾法→按圧法/按揉法/一指禪法→推法/抹法/擦法→叩法/拍法

③施療の刺激度 適度

④施療の時間 一回につき 30～40分

急性：毎日 慢性：週に1回

三、推拿療法の基本手技（その1）

1. 一指禪法

2. 滾法

3. 揉法

四、推拿練功の紹介——「少林内功・単手拉金環（たんしゅらつきんかん）」